

GOVERNOR'S MONTHLY COMMUNICATION

TO CLUB PRESIDENTS AND SECRETARIES IN DISTRICT 2790 (CHIBA)

ガバナー月信 | 2016-17年度
国際ロータリー第2790地区(千葉県)



Rotary Serving Humanity

経済と地域社会の
発展月間 / 米山



Nanso Satomi Festival

CONTENTS

ガバナーからのメッセージ	1	米山梅吉記念館便り	11
クラブ米山記念奨学委員長セミナー報告	2	米山記念奨学会ニュース 198号	11
米山記念奨学会委員長会談	3	コーディネーターニュース 2016年10月号	12
米山学友報告	5	文庫通信 349号	12
奉仕プロジェクト・ロータリー財団合同セミナー	6	叙勲・褒章・表彰 / 寄付者 / 新ロータリアン	13
ガバナー・エレクト就任にあたって	10	出席・会員数報告、物故者、ロータリーレート	14

2016年 **10** Oct.
月号

COPY FOR MEMBERS
発行 / 2016年10月1日

VOL. 4

地区行動指針「感謝と挑戦」

*Pursuing activities
sharing The Appreciation*



ロータリーデー BBQ 大会

——— ロータリー米山記念奨学会について (ガバナー月信第4号) ———

想定を超える豪雨により、地区大会記念ゴルフ大会は5年振りに途中中止の止む無きにいたり、参加者にはご迷惑をおかけしましたが、地区大会は天候にも恵まれ、多数の皆様のご参加を賜り、ありがとうございました。

渡辺 好政RI会長代理の職業奉仕を中核とする分かりやすいロータリーの基本・変化への柔軟な対応等の話、幅広い角度から物事の本質をつく寺島実郎氏の記念講演、仲間との親睦等から、皆さんも今後の活動に資する何かを学んでいただけたと思います。

今月は、R米山記念奨学事業について考えてみました。

1920年に創設された日本初のロータリークラブ「東京RC」は、創設者米山 梅吉氏(1868-1946年)の偉業を後世に残すべく、海外から優秀な学生を日本に招き、二度と戦争の悲劇を繰返さないための国際親善と世界平和寄与を目的とする奨学事業を1952年に発表し、1954年にタイから奨学生第1号を招いた。1957年に日本独自の事業として全国展開し、1960年には現在の「ロータリー米山記念奨学会」となったが、今日までに124ヶ国19,197人(2016年7月現在)の奨学生を輩出した。

1967年に文部省管轄の財団となり、今年は、奨学生750人の奨学金が約12.5億円、その原資は1昨年の寄付額約14億円です。

2008年に日本のGDPが世界第3位に陥落した折、ODA(開発途上国援助)対象国見直し論が出ましたが、時を同じくして、本奨学金受給者に特定国出身者が多い、豊かになったアジア諸国の留学生より日本人学生に奨学金を提供すべき等の声が出たようです。しかし、R米山記念奨学事業の目的、及び寄付

者の意思と異なるもので、日本人対象奨学金制度は別途検討すべきと考えます。尚、東日本大震災被災が学生対象に「希望の風」事業を推進しています。また、米山奨学金受給者の出身国偏重を避けるため、当地区は、選考を1ヶ国3割以下としています。

元米山奨学生は、現在、日本及び6つの国で学友会を作り、日本との連携に務めると共に、恩返しに、R米山記念事業に寄付(現在約2,700万円)、台湾で学ぶ日本人留学生14名に奨学金給付等を行っています。中国上海学友会初代会長の弁護士姫軍氏は、5年前に中国で発生した日本人排除運動時、在中日本人・企業の相談役を務めました。また、駐日韓国大使第14代(2000-02年)崔 相龍氏、及び第18代(2008-10年)權 賢哲氏は元米山奨学生です。この他、多くの学友が母国、また日本で両国の懸け橋となり、台湾で2つ、日本で3つのRCを設立して220名のロータリアンが誕生しています。

この事業は2007年に国際ロータリーに認知されましたが、その特徴は、奨学生に世話クラブ、及び日常の相談役「カウンセラー」が指名されると共に、例会出席、卓話等が義務付けられていることです。

ロータリー青少年育成事業には、本奨学生以外に、日本人対象を含め、ローター／インターアクター、ROTEX、R.Y.L.A.、R財団地区・G補助金青少年交換、平和フェロシップ等がありますが、残念ながら、参加者の多くが、その後ロータリーと縁が切れていることです。そこで、地区は学友会委員会を独立組織に格上げし、青少年育成事業参加者とロータリーとの結びつき継続・強化を図り、ロータリーの理解者、及び将来のロータリアン育成に着手しました。皆さんのご理解・ご協力を宜しくお願いします。



クラブ米山記念奨学委員長セミナー報告

テーマ「米山記念奨学事業の可能性」

ロータリー米山記念奨学委員会

委員長 富 一 美 (成田空港南RC)

8月27日(土曜日)に「米山記念奨学事業の可能性」というテーマでクラブ米山記念奨学委員長セミナーを開催致しました。

ご来賓の皆様、クラブ関係の皆様、地区委員、米山学友会を含めておよそ150名という大勢の皆様のご登録をいただきまして開催ができましたこと、改めて、皆様のご協力に衷心より厚く御礼を申し上げます。

さてここで、米山の歴史を振り返りますと、1952年に米山奨学会が始まって64年、1967年に財団法人になってから49年、これから50年目という大きな節目の年を迎えます。米山記念奨学事業は、国際ロータリーからの高い評価を得まして、この度の韓国ソウル国際大会から正式プログラムに米山が入ることに成り、史上初となる歴史的3イベントが開催されました。ロータリー米山記念奨学会では2004年の大阪、2012年のバンコクに続き「友愛の家」にブース出展するとともに、学友会レセプション、米山ナイト、初めての「分科会」を開催しました。今大会には地元・韓国はもとより、日本、台湾、中国、タイ、モンゴル、マレーシア、ベトナム、シンガポール、ニュージーランドなど、世界各国から多くの米山学友が参加をしました。それだけ、米山が輝きを増し、日本の米山から、世界の米山に、改めて認められたという事に成ります。

このような米山の発展的背景を受けて、この度のクラブ委員長セミナー当日は、これから節目を迎える年に相応しい3名の皆さんからご講演をいただきました。

ロータリー米山記念奨学会からは監事の森島庸吉様、そして、東京の第2750地区米山学友会並びに東京米山友愛ロータリークラブのバースト会長でもあるギリラム様、そして、茨城の第2820地区学友会からは現会長の崔 玉芬様の3名の皆様に講師としてお迎えして、それぞれのお立場から有益なお話をいただきました。

ご出席の皆様には、これまでの米山の歴史、そして、これからの米山記念奨学事業の可能性について、十分とはいかないまでも、ある程度はご理解いただけたのではないのでしょうか。

この事業は、日本のロータリークラブの他地区合同事業でございまして、奨学金の財源は、すべてロータリアンからの寄付金が財源であり、RIからの金銭的支援は一切受けておりません。

よって、何と申しましてこの事業を継続する為には、大変お金と気配りが必要に成りますし、また世話クラブになっていただきますと、クラブの皆様やカウンセラーの皆様には、奨学生が大変お世話になります。そういう意味では、皆様のご協力のお蔭で、今日の米山奨学事業があるわけです。

特に、今回委員長セミナーにご出席いただきました皆様は、この事業に深い関心をお持ちいただき、ご寄付の点も含めまして色々な意味でご協力をいただいております。

この機会にあらためて厚くお礼を申し上げます。

公益財団法人ロータリー米山記念奨学会の定款の中に謳われている目的には、「この法人は、勉学又は研究のため来日し、わが国の大学等教育機関に在籍する外国人に対して奨学金を支給し、よってロータリーの理想とする国際理解と親善と平和に寄与することを目的とする」と在ります。

米山奨学会では、地道ではありますが、2016学年度年間751人、2016年4月現在の累計で、世界124の国と地域から19,195人を支援しています。これは、外国人留学生を対象とする民間奨学金としては最大で、今後、海外からより多くの留学生を受け入れようとする日本の政策にも大きく貢献しています。

米山奨学事業の使命は将来、日本と世界とを結ぶ「懸け橋」となって国際社会で活躍し、ロータリー運動の良き理解者となる人材を育成すること。つまり人づくりです。

これはまさに、ロータリーの目指す「平和と国際理解の推進」そのものであり、目に見える国際奉仕活動です。

また、ロータリーの奉仕はお金ではなくて心の奉仕です。しかしながらロータリー財団と同様に、実際問題として米山奨学事業にはどうしても資金が必要です。資金なくしてはこの奉仕は成り立たないわけですが、ただ、この奉仕はお金さえ出せばよいというものでは決してありません。お金を出す人(ロータリアン)の愛の心が、お金を受ける人(奨学生)の心に通じ、またお金を受ける人(奨学生)の心が、お金を出す人(ロータリアン)の心に響かなければならないのです。米山梅吉翁の言葉に「ロータリーの奉仕は目立たないところに妙味がある」というお言葉がありますが、その心と心とは、ロータリーという世界で温かく結ばれているからです。将来的にもロータリーの奉仕によって羽ばたく奨学生の可能性は、計り知れないものがあります。これからも世界平和の為に、一人でも多くの優秀な奨学生を採用し、育てていきたいと思っておりますので、皆様のご協力・ご支援をお願い申し上げます。

最後に、今年度米山奨学委員会は、青木ガバナーの掲げる地区目標額15,000円(一人当たり)を達成いただけるように、重点課題として特に以下の4点について努めてまいります。

1. 大学奨学金担当者・指導教員へのロータリー活動と米山記念奨学会の目的趣旨の周知
2. 米山奨学生へのロータリー活動と米山記念奨学金制度の目的趣旨の周知
3. 米山奨学生と世話クラブ・学友会との継続的関わりの育成
4. 「将来の懸け橋」「国際親善」「国際平和」「ロータリーファミリー」という米山奨学事業の大きな目的に対して、醸成された思いを持つ学友会の皆さんに、米山奨学事業のプログラムや活動の場での更なる協力を求める。

クラブ米山記念奨学委員長セミナー

(ロータリー米山記念奨学会の現状と未来)

公益財団法人 ロータリー米山記念奨学会
監 事 森島 庸吉 (船橋西 RC)



酷暑の中、休日にもかかわらずクラブ会長の皆様、委員長の皆様、出席ご苦労様です。また、今日の為に周到なご準備をしていただいた地区委員、スタッフの皆様そして学友の皆様にご感謝と御礼を申し上げます。「今日の会議が効果的で役にたつ会合だった、来て良かった。今日のことを家族に話そう、クラブで話そう、行動を始めよう」そういう会議を希望しています。そのためには、双方向の対話、意見交換と質疑応答の時間を多くして欲しいと思っています。

はじめに

大きな時代の変化を迎えています。ロータリーも大きな転換期を迎えています。さる4月の3年に1度の規定審議会の議決の結果、ロータリーの運営に関して多くの改定が行なわれました。

クラブの自主性、裁量権の拡大が認められ、会員資格・クラブ例会・出席規定その他多様性が尊重されるようになりました。これからは、今までよりクラブや会員の自主性が大事になります。

標準クラブ定款に矛盾しない範囲でクラブ

細則の改正ができるようになりました。しかし、ロータリーの目的や理念になんらの変更はありません。今日は、この奉仕の理念を行動に移すきっかけの日にしていただきたいと思います。いわゆる23-34の声明の核心は、奉仕の理念を説くとともに、行動を要請しています。今日は、皆様と一緒に国際奉仕活動としての米山記念奨学会で行動をおこしたいと思います。

ロータリー米山記念奨学会とは

1. 創設・・・世界の平和を願って

米山記念奨学会は1952年に東京ロータリークラブが、日本のロータリーの基礎を築いた米山梅吉氏の功績を記念し、奨学金制度として米山基金を発足させました。

“1日のタバコ代を節約して、留学生支援に”をスローガンに始まったこの運動には、“平和と日本を世界に伝える願いが込められていました。

2. 9万人のロータリアンによる国際奉仕活動

この奨学事業の特色は、国際ロータリーのプログラムではなく、日本独自の公益財団法

人として会員皆様のご意見を反映させながら運営されており、優秀な外国人留学生を支援していることにあります。

ロータリー米山記念奨学会は、日本全国のロータリアンの寄付を財源に、日本の大学・大学院等に学ぶ外国人留学生に対して奨学金を支給しております。

ロータリーの理想とする国際理解と相互理解に努め、国際親善と交流を深める為に、優秀な留学生を支援し、世界平和の創造と維持に貢献することを目的としております。

3. 財団の運営と地区、クラブの役割

財団は全国34地区から選出された評議員と理事によって意思決定、職務執行が行なわれ、監事は理事の職務執行と財産の状況を監査します。

また、米山記念奨学会には、財務委員会、選考・学務委員会、広報委員会の3つの委員会があり、全国から選任されたそれぞれの委員によって理事会及び評議員会に諮る原案が審議されます。

いただいた寄付金はすべて奨学生の為に使われております。管理経費は、ほぼ基金の運用益で賄われております。

何故いま米山なのか

只今は、国際情勢、国内経済ともに先が見えにくい状況の中ロータリーも大変厳しい状況にありますことはご承知のとおりです。会員増強も中々大変な状況にあります。

中国関係、韓国関係も種々問題を抱えております。そんな中で、「何故中国、韓国の学生を支援しなければならないのか」という声も確かにあります。全国各地から1名ずつ選出されている米山記念奨学会の理事の多数意見は、どうだったのでしょうか。

過去を反省し、平和を愛する本当の日本を見てもらうためには、中国、韓国からの留学生は、だからこそより一層受入れるべきだということになりました。学友の皆さんは、真実の日本を自らの目で、自らの心で評価をしています。ロータリークラブを通じて、カウンセラーを通じて、彼ら彼女らは真実の日本を理解し、最高の国際親善の役目を果たして

くれています。これこそがロータリーの目的にかなう最も身近な国際奉仕だと私は思っています。

1. 米山学友会と学友の活躍

国内34地区の殆どに奨学生と卒業生からなる学友会を組織しており、海外にも台湾、韓国、中国、タイ、ネパール、モンゴル、スリランカと7つの学友会があります。学友たちは、学友同士の友情を深め、ロータリーとのよき理解者となり日本と母国の架け橋の役目を果たしています。

19,000人の学友は、米山記念奨学会と日本のロータリーの宝であります。

2. 世話クラブとカウンセラー制度

米山奨学金の特質は、単に奨学金を支給するだけでなく、世話クラブと各クラブのカウンセラーによって心の通った支援をすることにあります。

3. 寄付金の増進

せめて人並みの付合いをいたしましょう。残念な数字が読み取れました。

- ・関東1都6県の中で会員一人当たり寄付金が最下位。
- ・特別寄付金の寄付者割合（寄付参加率）も下から2番目。

全都道府県の中でも有力な千葉県でありながら、一人当たり寄付金も全国平均を僅か458円上回っているだけ。このような数字が発表されています。残念に思うのは金額の多寡ではなく寄付者の割合、寄付者率が低いことです。

4. 独断と偏見をお許し下さい。

寄付にはやはり努力が要と思います。

不況で苦しいときもあります。出来る時が来ましたらよろしく願いたします。

米山委員長の皆様には、どうぞ今後とも国際理解と平和の為に、そして自分自身の幸の為に、ロータリー米山記念奨学会に「慈愛の種」を播き続けることに「手を貸して」下さいますようご協力をお願い申し上げます。



米山奨学生から ロータリアンへ

RI第2750地区
東京米山友愛ロータリークラブ
2014-15年度 会長 ギリ ラム

本日は国際ロータリー第2790地区米山委員長セミナーにお招き頂き、感謝します。

先ほど、ソウル大会での米山・学友に関するプロモーションビデオ拝見させて頂きました。実は私は講師としてそこに参加する予定でしたが、ビザの関係で参加できませんでした。ビデオの中で学友には国境がないとの表現もありましたが、現実には国境の壁が大きいです。

私は日本に留学して間もない頃、日本の小中学校を訪問して、ネパールについてお話しする機会がありました。その時実感したのは、日本は戦前から教育に力を入れていたことが分かった。戦後の日本の目覚ましい経済発展は日本の素晴らしい教育基盤に支えられていたことがわかりました。発展途上国の中でも最も遅れているネパールから来日した私は、ネパールの教育環境改善に何かしたいと決意しました。ちょうどその時、日本でも私は奨学金を頂ける団体を調べており、ロータリー米山奨学金のことを知りました。そこに、故米山梅吉先生の人生について書かれており、海外で苦勞して勉強し、帰国後全財産を教育の為に使われたことが、感動的でした。また、米山先生の言葉“自分にしてほしいことは他人にも同じようにした方が良い”と書かれていました。私もちょうど奨学金を探していましたが、実は私よりも奨学金を必要とされているのはネパールの

子供達であると考え、ネパールで経済的な理由で学校を途中で辞めなければならない子供たちを学校に行かせるために、ネパール教育基金を設立して支援を開始しました。当初は自分が勉強した2校から支援を開始し、今では20校にまで支援を拡大し、1997年5月の設立以来2000人以上の生徒を学校へ行かせることができました。今では、学校で図書室の設立、理科実験室の開設、パソコン教育の実施等をしております。教育基金設立の翌年の1998年に私も米山奨学生になりました。奨学生になり、経済的な支援はもちろんのことロータリアンの方々と一緒に私が始めたネパールの教育支援事業が拡大することができました。

何か良いことをしたいと思う人は多いが、実際に思ったことを実行できる人は少ない。米山学友の強みは素晴らしいロータリアンに恵まれているので、良いアイデアがあればロータリアンと一緒に成し遂げることができることだと思います。日本でも世界でも奉仕団体はロータリー以外にも沢山あります。他の奉仕団体とロータリークラブの違いは、我々は世界のどこへ行っても同じ考え、同じ精神を共有している素晴らしい仲間がいます。世界のどの地域へ行ってもロータリアンの仲間と一緒に成し遂げ、奉仕活動を実現できるといえることです。奉仕活動も効率よく、少ない費用で多くの成果を出せるのも強みだと思います。

さらに、2万人近くの学友が世界中におり、彼らを世界平和・日本との架け橋そして、現地で奉仕活動を展開するパートナーとして活用して頂きたい。奨学生に奨学金を出すのはもちろん大事ですが、彼らが学友になって、活動する場・フラットフォームを提供することがもっと大事だと思います。学友の力を世界平和・奉仕活動に生かしてこそ、米山奨学金の意味がある。その為にロータリアンの方々のご協力をいただければ幸いです。



交流・親善・平和

ロータリー2820地区
米山学友会会長 崔 玉芬

今日は、2790地区の米山委員長セミナーでお話できる機会をいただき、非常に光栄に存じております。

今日まで卒業された米山奨学生は2万人近くいます。卒業された奨学生の中には、皆様がお覧になったDVD、ソウル国際大会に出ている米山学友のように、世話クラブとの絆をずっと持って世界で活躍している卒業生がいる反面、そうでもない卒業生もいます。その結果、「なぜ米山奨学生に対する支援を行わなければならないのか？」という疑問を持っているロータリアンが少なくないと思います。その主な原因は、交流が少なかったのでは、と私は思います。よりよく交流するため、ロータリアンと奨学生だけ

の交流ではなく、米山学友との交流も含めた、より豊かな交流を行う必要があると思います。

米山奨学生・学友は、様々な国から来た、様々な言語、様々な文化の背景をもっている人たちです。米山奨学生・学友の中には、日本語が上手ではない人もいますし、日本の文化についてまだよく理解できていない人もいます。しかし、彼らは、日本が好きで日本に来たはずで、国、言語、文化が違って、人間の持っている心は同じです。仮に彼らの日本語が上手でなくても、交流を通して友好的な関係を結びたい、という気持ちは同じだと思います。異文化を理解することが、交流において非常に大事だと思います。人と交流する前に、その国の文化について理解できれば、私たちの理解は一層深まり、より素晴らしい交流ができると思います。相互の交流、理解を通して、国を超えた絆や信頼関係を築き、世界の平和、親善を促すことになるのではないのでしょうか。

中国には、「十年樹を育つ、百年人間を育つ(中国語: 十年樹木, 百年樹人)」という諺があります。今、皆様が植えた樹が、百年後には、素晴らしい平和の森になることを私は信じています!

本日は誠にありがとうございます。



奉仕プロジェクト委員会・ロータリー財団委員会 合同セミナーの開催について

奉仕プロジェクト統括委員会
統括委員長 **堀内 正一** (木更津RC)

奉仕プロジェクト委員会の今年度テーマ「元気なクラブを目指して一歩踏み出そう奉仕活動へ」のもと、8月7日(土)に奉仕プロジェクト委員会はロータリー財団と合同セミナーを開催致しました。

当日は、79クラブから会長・幹事はじめ各委員長378名のロータリアンの皆様にご出席頂きました。

セミナーの目的は、ロータリー財団の使命に沿った国際的分野から身近な地域に関する分野まで様々な奉仕活動にロータリー財団の補助金を活用して頂き、各クラブの皆様奉仕プロジェクト計画・立案に一歩踏み出して頂こうとする事でした。ロータリー財団の補助金には、地区補助金とグローバル補助金がありますが、地区補助金の受付締切りは、来年3月末です。今からクラブの皆様には準備をして頂き、締切りに間に合う様に、また合わせて随時受付をしていますグローバル補助

金を活用した奉仕プロジェクトについても積極的にチャレンジして頂きます様、お願いをさせて頂きました。地区補助金につきまして昨年度は34件、本年度は42件の内40件を認可させて頂きましたが、来年度は更に多くの申請をお願いすると共に、これらの奉仕活動を支えている原資でありますロータリー財団の年次寄付金も3年後には、皆様の活動資金となることを説明させて頂き、より多くの浄財のお願いを致しました。

会場一杯のロータリアンの皆様へ各委員長から実践クラブによる事例の紹介や具体的データによる説明をさせて頂き、元気なクラブを目指して奉仕活動へ一歩踏み出して頂く一助になったのではないかと思います。

お暑い中、ご出席頂きました多くのロータリアンの皆様、また事例発表されました奉仕活動実践クラブの皆様に感謝申し上げます。





奉仕プロジェクト委員会・ロータリー財団合同セミナー 職業奉仕委員会の報告及び発表について

職業奉仕委員会

委員長 中村 俊人 (柏東RC)

8月14日に開催されました合同セミナーにおきましては、今年度の職業奉仕委員会としてどのような活動をしていくか、また職業奉仕について、ロータリアン各位が携わっている職業を通じて、地域社会に奉仕をし、そしてその行動によって地域の皆様からの信頼や信用を得る事が大切であることをお伝え致しました。

さらに、ロータリアンとして、ロータリーの目的や行動規範を遵守する事の大切さ、すなわち自分のスキルを生かして若い人々を導き、特別なニーズを抱える人々を助け、地域社会や世界中の人々の質を高めることの大切さをお伝え致しました。

各クラブが、地域に職業奉仕として活動をしている中で、全くこの内容に当てはまる活動をされています。前年度の職業奉仕活動優秀クラブとして表彰されました、君津ロータリークラブと千葉北ロータリークラブの会員皆様が各自の職業をしっかりと若者へ伝達していることをお話いたしました。

その職業奉仕の事例発表を、君津ロータリークラブにお願いし、各会員が機械や機器・材料を準備して、共に学校を訪れ出前教室として子供達へ仕事の大切さ、また技術の伝達などを話され、実演している時の写真などを

掲示しながら当日参加の皆様にも事例報告をして頂きました。

職業奉仕は、社会奉仕や国際奉仕などとは違い、行った結果が形としてわかりづらいものです。職業奉仕については皆様それぞれにいろいろな考え方がありますが、基本はひとつと考えています。

社会へ奉仕する機会としてロータリアン各自の職業に於いて高潔なものとする事ですね。そして一番大切な信用・信頼を得ることだと考えます。

今年度の職業奉仕委員会としては、各クラブに卓話依頼をお願いし、職業奉仕委員が各クラブを訪問し、職業奉仕の大切さをわかり易く事例等を挙げながら卓話をさせて頂くことを考えています。

是非卓話依頼をお願いしたいと考えていますので、どうぞ宜しくお願い致します。



和食の職人による包丁の使い方教室



大型クレーンに乗車しての実体験



奉仕プロジェクト委員会・ロータリー財団委員会合同セミナー 社会奉仕委員会報告

社会奉仕委員会

委員長 石井 弘 (松戸西 RC)

- 1) 地区社会奉仕委員会は、社会奉仕活動に
一歩踏み出すことをためらっておられるク
ラブの方に、他クラブの成功事例を紹介さ
せていただきました。

＜事例紹介＞

勝浦 RC 小林悠紀会長より、地区補助金
を受け「地元食材を使った食育教室」の企画
立案の発表をしていただき、終わりに、「地
区補助金も申請自体は、それほど難しくあり
ません。皆さんも地区補助金を積極的に活用
し、共によいことをしましょう。」と、呼び
かけられました。

各クラブの活動の参考にしていいただければ
幸いです。

- 2) 一歩金銭的に問題があり、社会奉仕活動
に踏み出せないクラブの方には、ロータ
リー財団の地区補助金の活用をお勧め致し
ます。

地区補助金について、よくわからない、申
請が難しい等の声が多く寄せられております。

大野雅幸 ロータリー財団 補助金委員長
には、奥様に地区補助金の説明をして、奥様
がよくわかりましたと言っていただけよう
な、わかりやすい説明をお願い致しました。

＜地区補助金説明＞

私が妻に説明したところ、ロータリーは何
か？からの説明する事になり大変でした、と
言う話に会場から笑いが漏れ、大野委員長の
真面目さと人柄が出る発表となりました。発
表後、大野委員長は「会場の皆さんに、もし、
少しでもわからないところがある方は、ぜひ
私を卓話にお呼びください。期日は12月迄
にお願いします。なぜなら、来年3月には寺
嶋年度の地区補助金が締め切りとなります。
日程を逆算しますと、12月迄に説明させて
頂き理解して頂き、企画、立案をしていただ
かないと3月の締め切りに間に合わなくなる
からです。最後に来年度は、全てのクラブの

皆さんが地区補助金の申請にチャレンジして
頂ける事を期待しております。」と話を結ば
れました。

＜大野委員長 卓話申込先＞

ガバナー事務所 16-17gov@rid2790.jp

FAX 043-256-0008

- 3) 地区補助金の財源は何かその疑問にお答
えいたします。

＜年次基金説明＞

水野晋治 ロータリー財団資金推進管理小
委員長が地区補助金の財源は何なのかよく分
からないという声に対応させて頂きました。

地区補助金の財源は、各クラブが毎年寄付
される、年次基金寄付です。その50%がシェ
アシステムによって、3年後に地区補助金プ
ログラムの資金となり、各クラブの奉仕活動
を支援する地区補助金となります。

会場にお集まり頂いた皆様には、水野委員
長より本年度は、まず年次基金に寄付して頂
きたいというお願いがありました。この文章
を読んで頂いている皆様にも年次基金への寄
付を、よろしくお願い致します。

***＜毎年、寄付金を振り込むときに、申請用紙
の年次基金と書いてある所にしっかりと丸で
囲って送ってください、確認を忘れずに。＞**

最後に、今回セミナーにお集まり頂いた全
ての皆様に、各クラブの奉仕活動を支援する
地区補助金の仕組みについて、更には寄付金
の流れもご理解いただきたいと思います。

(年次基金寄付→地区補助金→各クラブへ
の支援金)

1. 年次基金寄付をより多くして頂く事
2. より多くのクラブに地区補助金の申請を
して頂く事

によって各クラブの皆さんが社会奉仕活動
にさらに邁進して頂き、更に元気なクラブに
発展されます事をお祈りいたします。



奉仕プロジェクト委員会・ロータリー財団委員会合同セミナーに於いての 国際奉仕委員会の発表について

国際奉仕委員会

委員長 高木 浩一（銚子RC）

本年度、奉仕プロジェクト委員会のスローガン「元気なクラブを目指して一歩踏み出そう奉仕活動へ」の下「知ること」をテーマに活動しているところでございます。さて、新補助金システムに移行して4年目に入り、地区補助金は本年度40件と右肩上りになっておりますが、この4年間の比率から見ますと、国際奉仕は2割から3割程度にすぎず、未だにハードルが高い印象があります。また、グローバル補助金については3年間で8件でありました。

では、国際奉仕活動のハードルを下げるにはどうしたらいいか。まずは「知ること」ではないでしょうか。自クラブの実情を考え「どんな活動ができるのか?」「資金はどのようなのか?」「人手はどのようなのか?」様々な問題や課題があると思います。その問題や課題をセミナーや卓話を通して、事例や方法「知ること」を提供してまいります。

今回のセミナーでは、この「知ること」を踏まえ、柏西RCのネパール出身の米山奨学生をきっかけとし、5年計画でグローバル補助金を視野に入れて取り組んだ、「ネパール支援プロジェクト」の活動報告と野田セントラルRCのWCS支援視察の際にフィリピンで出会い17年に及ぶ姉妹クラブ、タグム・ゴー

ルデンレイシスRCと共同で取り組んだ「クリニックとキッチンの増改築」を報告して頂きました。セミナーに参加された皆様には、この事例を通して、大変ではあるけれど、そんなに難しくはないんだと少しでもわかって頂けたかと思います。

今回は、米山奨学生、姉妹クラブといった身近なところに活動のヒントがありました。活動のヒントは、近くに眠っています。小さなヒント「知ること」から大きな「奉仕する」に変え、そして、活動すること「一歩前」へ踏み出し、地区補助金・グローバル補助金にチャレンジして頂きたいと思います。



柏西RC



野田セントラルRC



野田セントラルRC



ガバナー・エレクト就任にあたって

国際ロータリー第2790地区 2016－17年度
ガバナーエレクト 寺嶋 哲生 (柏RC)

ガバナー・ノミニー・デジグネイトを拝命してから、早くも一年半近くが経過致しました。

何の準備も整わないまま今に至り、少なからずの焦りを感じております。

しかしながら、この一年半において私が強く学んだ事は、多くのロータリアンの真摯な姿勢でありましょうか。

ロータリークラブの設立の経緯から、その進化の過程、現在の課題と未来へ続く方向性。

自らの体験のみならず、多くの文献や論評を紐解き、確固たるロータリー観を抱いている姿勢に対し、括目すべき方々が数多くいらっしゃる。

H. T. トーマス著のロータリー・モザイクを読むまでもなく、ロータリーは多くの善良な人々の熱意によって支えられている事を実感した一年半ではありました。

さて、今年採択された規定審議会のいくつかの改変は、少なからずの物議を醸しているやに聞き及びます。

取り分け会員資格や職業分類に関する改変は、ロータリーの存在意義に関わる看過できない改悪と捉える向きもあるようです。

「世界最大の奉仕団体を目指す」とする現在のRIの方針は、職業倫理を旨とする伝統的ロータリー観とは相いれず、例えば2002-03年度RI会長であったビチャイ・ラクタル氏の講演録「ロータリーの基本に返ろう」に象徴されるように、強い反発や批判を受ける事もあるようです。

これは、かの有名な決議23-34が採択された前夜にも似て、あるいはロータリーにとつ

ての不変のテーマであるのかも知れません。

伝統的なロータリー観、取り分け米山梅吉以降、佐藤千寿らによって洗練された日本に伝わる職業倫理観は、間違いなく美しい。

この日本において愛される職業倫理観は、RIの如何に関わらず放棄すべきでないとする信念も、如何にも日本人の美意識により肯定される価値観ではありましょう。

そしてこれは、RIの認識如何に関わらず、放棄する必要は微塵もない。

この価値観は、少なくとも職業倫理として高潔であり、ロータリーの寛容さによって容認される多様性の範疇である。

日本のロータリアンは何ら臆することなく、この美しい価値観を愛し、主張すべきであると考えます。

では、規定審議会における決議をどう消化すべきであるのか。

この解も、至極単純です。

美しい職業倫理観は理念として美しく、具体性を持つ奉仕活動なる実践と矛盾なく共存できる。

实际的な奉仕活動は少なくとも有害ではなく、利他的職業奉仕も断じて無益ではない。

理念の選択は実践を否定するものではなく、実践する事は理念の否定を意味しない。

理念と実践。

使い古された言葉ではありまじょうが、現在に幾許かの混乱があるとすれば、斯様な思考をもって得心したい。

只今は、そんな思いでエレクトを拝命しております。

米山梅吉記念館便り

シリーズ② 米山梅吉の横顔

米山梅吉は、渡米資金を蓄える意図を持ち17歳で東京府吏員に採用されます。その後青山の東京英和学校入学、米人ニコール・バックに英語を学び、明治20年に銀座の福音会英語学校へ入学。正式に米山家へ入籍し米山姓を名乗り、年末渡米しました。19歳でした。

渡米して桑港福音会寄宿舎に寄寓し、青山学院長・本田庸一と出会います。部屋に押し掛け薫陶を受けていた様子ですが、ある時先生はしきりに「巧遅拙速」と、米山に見せるともなく書いていました。それに気付いた米山は自分の性格を察して「功を急ぐな」と戒められたと感じ入り、一生の座右の銘としました。



米山梅吉、在米当時、21歳頃

ポール・ハリスお手植え月桂樹2世が記念館に植えられています。ポール・ハリスが昭和10年に来日したおり、帝国ホテル前庭にお手植えた月桂樹から育苗した2世が、記念館に植えられました。さらにこの木からの3世を現在生育しています。

米山梅吉関連図書の紹介



A5判 上製本ケース付
本文590ページ／4,000円

米山梅吉伝

出生から晩年まで、さらに三井銀行、青山学院、三井報恩会、ロータリー関係者、生前の米山と親交があった人達の証言を交えて、様々な角度から米山の人となりをうかがい上げさせています。「梅吉を知るにはまずこの本から」の1冊です。和歌や俳句、漢詩など、趣味の人米山の一面を知る事もできます。

公益財団法人 米山梅吉記念館

〒411-0941 静岡県駿東郡長泉町上土狩346-1
TEL:055-986-2946 FAX:055-989-5101
URL <http://yoneyama-umekichi.jp>
Email: yumh@ai.tnc.ne.jp

【開館時間】午前10時～午後4時

【休館日】月曜日/12月28日～1月4日/整理のための休館日(5月・8月の特定日)



(公財) ロータリー米山記念奨学会ニュース (ハイライトよねやま198号)

今月のトピックス

- ・寄付金速報 — 10月の米山月間に向けて —
- ・理事会・評議員会報告 — 新しい理事が選任されました —
- ・GETSで米山学友がスピーチ
- ・タイ米山学友会が植樹活動
- ・台湾学友会による日本人対象奨学金 第8期生が決定
- ・まもなく最新の米山月間資料が届きます！

《今月のピックアップ記事》

まもなく最新の米山月間資料が届きます！

最新の米山月間用資料を全ロータリークラブへお届けします(9月16日より発送開始、21日には到着予定)。

クラブ会長およびクラブ米山奨学委員長は必ずお目通しください。

ガバナー、ガバナーエレクト、評議員、理事、専門委員、地区米山奨学委員長・委員の皆さまにもお送りします。

【米山月間資料】

1. 豆辞典(必ず会員のみなさま全員へ配布してください)
 2. クラブ米山記念奨学委員長の手引き
 3. 寄付金マニュアル
 4. 事業報告書
 5. 事業報告書(統計・資料編)
- ほか

記事の続き、および、そのほかの記事は、ぜひPDF版をご覧ください。

→ http://www.rotary-yoneyama.or.jp/summary/pdf/highlight198_pdf.pdf

■ ロータリーの公共イメージ向上のために

ガバナーエレクトとして	ガバナーとして
地区広報委員会の委員長と委員を任命する。	地区とロータリーのスポークスパーソンとなる。
地区広報のために予算を組む。	広報計画を立てるようクラブに奨励する。
クラブを対象とした広報の研修が実施されるよう手配する。	地区のウェブサイトとソーシャルネットワーキングサイトが定期的に更新されるよう手配する。
ロータリークラブ・セントラルでクラブが広報目標を立てるよう、ガバナー補佐と協力して確認する。	奉仕プロジェクトの広報を効果的に行う。また、ロータリーショーケースやロータリークラブ・セントラルでプロジェクトの成果を紹介するようクラブに奨励する。

■ 2016-17年度ロータリー公共イメージコーディネーターの目標

◎以下のトピック（1つまたは複数）に関する無料メディア掲載（ロータリーが費用を支払わずに外部メディアにより掲載される記事）を、**各地区で少なくとも10件**確保する。

- 特筆すべきクラブのプロジェクト
- 地元ロータリークラブの支援を受けた人または団体
- 学友
- ロータリークラブ会員とそのボランティア活動の紹介
- 地元のイベント／募金活動
- ポリオ撲滅または6つの重点分野
- 人びとの交流／ネットワークを広げる機会
- 世界ポリオデー
- ロータリーデー
- ロータリーのイベント／財団100周年イベント

文 庫 通 信 (349号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万4千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

ロータリーについて

- ◎「ロータリーは今や末法時代か」 塚原房樹 2016 2p (D.2510月信)
- ◎「ロータリーは難しいか？」 櫻木英一郎 2016 2p (D.2790月信)
- ◎「慣例と変革」 櫻木英一郎 2016 1p (D.2790月信)
- ◎「奉仕について」 片岸修次 1998 6p (ロータリーの葉)
- ◎「Object of Rotaryの解説、私のロータリーに対する考え方」 野田三郎 2016 2p (私の足跡)
- ◎「あなたはなぜロータリークラブに入会するのか？」 刀根莊兵衛 2016 4p (D.2650月信)
- ◎「ロータリークラブにおける会員増強、果たして必要なのでしょうか？」 久保田晋平 2016 1p (D.2700月信)
- ◎「ロータリーの正義(Ⅱ)」 田渕水作夫 2016 66p
- ◎「ロータリーの誕生と成長の物語ーポール・ハリスのロータリー1935年を中心にして」 穴井元昭 2016 41p
- ◎「ロータリーとは何か」 常盤太助 1996 10p (ロータリーの心)

[上記申込先：ロータリー文庫]

—— ロータリー文庫 ——

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階 TEL (03) 3433-6456 FAX (03) 3459-7506

http://www.rotary-bunko.gr.jp 開館：午前10時～午後5時 休館：土・日・祝祭日

叙勲・褒章・表彰 (敬称略)

旭日単光章



平川 昇平
(印西 RC)

紺綬褒章



太宰 正俊
(八千代中央 RC)

藍綬褒章



大塚 精一
(松戸北 RC)

寄付者紹介 (敬称略)

ロータリー財団寄付 年次寄付 (マルチプル・ポール・ハリス・フェロー)



宇佐見 透
(千葉幕張 RC)
11 回目



石川 信昭
(鎌ヶ谷 RC)
5 回目



田澤 剛一
(千葉幕張 RC)
3 回目



皆川 隆
(鎌ヶ谷 RC)
3 回目



小川 義則
(袖ヶ浦 RC)
2 回目



渋谷 重大
(鎌ヶ谷 RC)
1 回目

(新ポール・ハリス・フェロー)



藤代 祐孝
(四街道 RC)

恒久基金 (ベネファクター)



高田 新也
(柏 RC)

希望の風奨学金



山口 習明
(船橋東 RC)

米 山 功 労 者



渡邊 幸一
(鎌ヶ谷 RC)
22 回目



宮間 尊士
(千葉幕張 RC)
21 回目



竹尾 白
(千葉南 RC)
9 回目



廣田 二郎
(君津 RC)
7 回目



信太 秀紀
(銚子 RC)
3 回目



鈴木 美津江
(千葉南 RC)
2 回目



石川 夕伎夫
(君津 RC)
1 回目



鈴木 荘一
(君津 RC)
1 回目

新ロータリアン (敬称略)



福田 秀人
(浦安 RC)
郵便
7月1日入会



川島 徹
(浦安 RC)
総合病院
7月1日入会



金 淑姫
(千葉東 RC)
飲食
7月19日入会



宮崎 修一
(成田 RC)
畜産
7月22日入会



宮内 繁男
(船橋 RC)
商業銀行
8月2日入会



早野 喜良
(館山 RC)
税理士
8月3日入会



山口 修代
(柏南 RC)
建設業
8月9日入会



矢野 理恵
(成田 RC)
生命保険、地域営業
8月19日入会



西村 一郎
(館山 RC)
商業銀行
8月24日入会



副島 賢治
(銚子 RC)
電話事業
8月24日入会



原 伸太郎
(木更津東 RC)
商業銀行
8月24日入会



三沢 猛
(木更津東 RC)
損害保険代理業
8月24日入会



近藤 洋子
(君津 RC)
警備保障
8月29日入会



大森 俊介
(君津 RC)
ガス機器販売
8月29日入会



中野 賢二
(君津 RC)
プラント建設
8月29日入会



福尾 博永
(柏 RC)
商業銀行
8月31日入会



三浦 時子
(船橋東 RC)
損害保険
9月1日入会



高橋 春夫
(浦安 RC)
薬剤師
9月2日入会



真板 和雄
(浦安 RC)
ホテル
9月2日入会



丸野 隆二
(野田 RC)
清掃業
9月12日入会



伊藤 賢一
(流山 RC)
広告業
9月15日入会

国際ロータリー第2790地区(千葉) 出席・会員数報告(2016年8月分)

分区	クラブ名	出席率 (%)	例会 回数	会員数				
				7/1	女	当月	女	増減
第1分区	市川	99.95	3	37	0	37	0	0
	市川東	100.00	4	41	0	44	1	3
	市川南	84.06	4	17	2	17	2	0
	浦安	87.40	3	35	2	41	2	6
	市川シビック	84.54	4	35	0	35	0	0
	浦安ベイ	87.49	2	13	0	12	0	△1
	平均	90.57	3.33	29.67	0.67	31.00	0.83	8
第2分区	船橋	90.84	4	27	0	28	0	1
	船橋西	88.59	3	40	6	41	6	1
	鎌ヶ谷	88.37	3	32	2	32	2	0
	船橋東	80.72	2	31	2	31	2	0
	船橋南	81.82	4	16	4	16	4	0
	船橋みなと	82.14	3	21	5	21	5	0
	平均	85.41	3.17	27.83	3.17	28.17	3.17	2
第3分区A	千葉	87.56	4	80	3	80	3	0
	新千葉	82.11	4	50	0	50	0	0
	千葉西	87.96	4	53	3	54	3	1
	千葉中央	75.77	3	32	0	34	0	2
	千葉幕張	82.04	4	37	2	38	2	1
	千葉東	76.02	4	33	4	33	5	0
	千葉若潮	66.67	3	31	1	31	0	0
第3分区B	平均	79.73	3.71	45.14	1.86	45.71	1.86	4
	千葉南	79.22	3	52	7	51	7	△1
	市原	76.09	4	38	2	40	2	2
	千葉港	82.14	3	23	2	24	3	1
	市原中央	86.41	4	50	2	50	2	0
	千葉北	74.07	4	27	3	27	3	0
	千葉緑	82.14	4	27	2	27	1	0
第4分区	平均	80.01	3.67	36.17	3.00	36.50	3.00	2
	木更津	68.00	3	27	3	28	3	1
	上総	74.51	3	17	0	17	0	0
	富津中央	80.70	2	28	1	31	0	3
	木更津東	85.85	4	40	0	42	0	2
	君津	96.01	4	50	2	54	2	4
	袖ヶ浦	90.36	4	24	3	25	3	1
第5分区	富津シティ	93.75	4	15	1	16	0	1
	平均	73.65	4.00	25.13	1.25	26.63	1.00	12
	館山	76.90	4	53	3	55	3	2
	鴨川	83.77	3	31	5	31	5	0
	勝浦	91.45	3	37	4	39	4	2
	千倉	76.67	3	10	2	10	2	0
	鋸南	80.00	2	13	1	15	1	2
第6分区	館山ベイ	65.15	3	20	0	23	0	3
	平均	78.99	3.00	27.33	2.50	28.83	2.50	9
	茂原	88.19	3	65	3	67	5	2
	大東	96.66	2	20	1	19	1	△1
	大原	95.83	3	10	1	10	1	0
	大多喜	90.00	4	5	1	6	1	1
	成田空港南	76.81	3	36	0	36	0	0

分区	クラブ名	出席率 (%)	例会 回数	会員数				
				7/1	女	当月	女	増減
第6分区	茂原東	69.04	4	22	2	21	1	△1
	茂原中央	72.37	4	17	2	19	2	2
	大網	70.00	4	30	1	30	1	0
	東金ビュー	77.50	2	20	1	20	1	0
	平均	81.82	3.22	25.00	1.33	25.33	1.44	3
第7分区	銚子	78.78	4	39	4	40	4	1
	旭	64.20	3	44	3	44	3	0
	八日市場	89.06	3	39	2	42	3	3
	銚子東	72.01	4	36	2	36	2	0
	平均	76.01	3.50	39.50	2.75	40.50	3.00	4
第8分区	佐原	74.48	3	47	0	48	0	1
	多古	83.22	2	15	0	14	0	△1
	小見川	90.48	3	23	0	23	0	0
	佐原香取	82.60	4	24	1	24	1	0
	平均	82.70	3.00	27.25	0.25	27.25	0.25	0
第9分区	成田	72.44	3	59	0	61	1	2
	八街	92.34	4	27	2	28	2	1
	印西	83.77	5	23	1	23	1	0
	白井	62.74	3	17	0	17	0	0
	富里	62.90	4	28	0	29	0	1
第10分区	成田コスモポリタン	83.71	4	67	0	68	0	1
	平均	76.32	3.83	36.83	0.50	37.67	0.67	5
	柏	79.90	4	56	9	58	9	2
	我孫子	68.17	4	22	1	22	1	0
	柏西	86.98	3	61	4	64	4	3
第11分区	柏東	86.42	3	32	4	31	4	△1
	柏南	85.80	3	30	5	33	6	3
	平均	81.45	3.40	40.20	4.60	41.60	4.80	7
	習志野	82.30	4	26	1	27	1	1
	八千代	84.33	3	49	0	50	0	1
第12分区	佐倉	82.00	4	24	3	25	3	1
	八千代中央	76.40	3	29	2	29	2	0
	四街道	86.18	4	25	2	26	2	1
	習志野中央	70.70	3	45	5	50	5	5
	佐倉中央	61.29	5	21	4	21	4	0
第13分区	平均	77.60	3.71	31.29	2.43	32.57	2.43	9
	松戸	86.88	4	56	0	57	0	1
	松戸東	91.67	3	46	0	46	0	0
	松戸北	74.24	4	38	0	37	0	△1
	松戸中央	79.49	3	43	6	43	6	0
第14分区	松戸西	86.21	3	29	0	29	0	0
	平均	83.70	3.40	42.40	1.20	42.40	1.20	0
	野田	80.36	3	58	8	58	8	0
	流山	71.42	3	14	4	14	4	0
	野田東	74.99	3	23	0	24	0	1
第15分区	流山中央	83.75	4	23	2	24	2	1
	野田セントラル	82.61	4	23	0	24	0	1
	平均	78.63	3.40	28.20	2.80	28.80	2.80	3

クラブ数 83RC

2016年7月1日

地区会員数

2,729人

当月平均出席率

81.77%

2016年8月末

地区会員数

2,797人

増減

+68

2016年7月1日

地区女性会員数

166人

女性会員増減

+3

2016年8月末

地区女性会員数

169人

物故会員 (敬称略)



田口 美恵子
(千葉西RC)
2016年3月15日逝去
(享年74歳)



加瀬 恵啓
(多古RC)
2016年8月15日逝去
(享年75歳)



野城 友三
(千葉南RC)
2016年8月18日逝去
(享年83歳)



平間 陸生
(東金RC)
2016年8月19日逝去
(享年77歳)



齋田 隆
(習志野RC)
2016年9月12日逝去
(享年68歳)

10月のロータリーレート

102円

KIRA CLUB in DISTRICT 2790

鴨川RC

鴨川ロータリークラブは、本年創立55周年を迎え、去る5月15日に記念式典が開催されました。

5年前の50周年記念式典は、東日本大震災の発生により中止となりましたので、今回はより皆さんの思いが強いものとなった様に思われます。

震災当時は各地で風評被害が起こりましたが、当地でもその影響で津波への恐ろしさによる海水浴客等の観光客が、激減してしまったと聞いています。

そこで、55周年記念事業として、地区から補助金を頂戴し、「津波避難誘導標識」を鴨川市内の海水浴場7か所に設置し、少しでも津波の不安を解消するようにしたそうです。

記念式典当日は、鴨川シーワールドの荒井一利総支配人より「鴨川シーワールドの保全活動」というテーマで、記念講演も行われました。

また、式典には桜木ガバナーをはじめ多くのパストガバナーや近隣のロータリアンにご参加いただき、華を添えていただきました。

懇親会では、鴨川市少年少女合唱団と鴨川芸子組合による出し物もさる事ながら、鴨川ロータリークラブが誇るという、女性会員による「ピンクレディーメドレー」は、アンコールが鳴りやまないほど好評だったとのことでした。

さぞかし会場が盛り上がったことだろうと想像できました。

今や日本政府が提唱する「女性活躍社会」ですが、同クラブは会員の約2割を女性会員が占め、正に女性が引っ張っているクラブそのものです。

お近くにお越しの際には、是非ともキラキラ輝く鴨川ロータリークラブでのメイキャップをお待ちしているとのことでした。



訂正・お詫び

ガバナー月信8月号5ページに掲載された「RLI小委員会委員長就任に当たって」の文章ですが、データ記載の誤りがありますので訂正させていただきます。

※5ページ左側文章の下から14行目

誤：「世界120地区と地域に広まり」 正：「世界で約120ヶ国と地域370地区に広まり」

今月の表紙



南総里見まつり

開催場所 ▶ 千葉県館山市北条海岸周辺

開催日 ▶ 2016年10月15日(土)

南総里見まつりは、館山の秋の風物詩であり、戦国時代、安房の国を支配した戦国大名「房総里見氏」と江戸時代の伝奇小説「南総里見八犬伝」の世界を現代に再現したイベントです。全国各地から募集した伏姫・侍女・八犬士や手作り甲冑隊など約200名のパレードや、本格的な合戦シーン、火縄銃の演武が行われます。市内27地区の山車・お船・屋台・神輿も参加し、夜に灯される提灯と火花との共演は幻想的で他では見る事ができません。

(一般社団法人 館山市観光協会 提供)